

絵手紙花の会ゆずりは

平成19年8月9日（木）から19日（日）にかけて、国立新美術館で日美絵画展が開催され、今回から絵手紙、ちぎり絵の部門が加わるようになりました。

日ごろ、公民館で絵手紙を学び、本館まつりや文化祭で成果を発表している私たちのサークルですが、よい機会なので是非出展をすすめたところ、3人の方が応募し見事3人ともに入選しました。

この受賞の知らせを受けて、また一つ背中を押された気がします。これからの活動がもっともっと充実したものになると思いました。私にとっても楽しみなうれしい今年の夏でした。

絵手紙花の会講師 佐々木淑子



「我が家の四季」

日美絵画展に今年初めて絵手紙部門ができ、先生にすすめられて駄目モトと思い出品しました。描いてあったハガキ3枚と新しく1枚を描いて送りましたが、まさか入選するとは思いませんでした。びっくりするやらうれしいやらですが、絵手紙をずっと続けられて本当によかったと思いました。

滝沢 静子



「春の野草」

思いがけず入選の知らせを受け、うれしさの反面恥ずかしい気持ちでした。立派な美術館に展示されるとは思いもよらず驚きました。入選された皆さんの作品を見て、まだまだかなわないと実感しています。

金倉 テツエ



「春らんまん」

国立新美術館で日美絵画展 第一回絵手紙部門が催されるので出品してみませんか、と先生から皆さんにお声と励ましがありません。

とても未熟な出来なのですが、思い出になればと出品しましたら、はからずも入選しとてもうれしく感謝いたしております。

高橋 国枝